



老人保健施設 サンタマリアニュース

発行日：2015年4月
発行責任者：永井 敏也
発行者：広報委員会

シスターのことば

『5月 聖母月』

子供は母親の温もりをどのように感じるのでしょうか。つぶらな眼は母親をじっと見つめ、優しさに包まれ、天真爛漫に振る舞います。互いの存在を喜び合っています。

ある時、子供連れの母親と話す機会がありました。母親は子供をベビーカーに乗せ、子供と対面する位置に座り、その横にわたしも座りました。その子はおもちゃを持って遊んでいて、飽きると泣き出しました。しかし、母親を探し求める子供の視線に母親が眼を合わせると、たちまち笑顔に変わりました。

そしてまた、安心して遊び始めました。

母親の眼差しには不思議な力があります。その眼差しに出会うと子供は母親の温もりを感じ、安らぎます。母親と子供の心の窓口はつながっています。弱さの中であって護ってほしいとの無言の叫びは母親の愛を動かします。母親を探す子供の眼差し、その眼差しにいつも応えようとする母親の慈しみ深い関わりは互いの信頼関係を育みます。

今日は結び目を解く聖母マリアをご紹介します、そのお取次ぎを共に願いましょう。上の絵は聖母マリア様の右にいる天使が、沢山の結び目があるリボンに聖母に差し出し、聖母の手を通ると結び目が解かれていき、左にいる天使が、きれいになったリボンを受け取っているという絵です。

私たちの日々の生活の中で、もつれた人間関係や複雑な問題が解決されないことを、絡まったリボンに例え、そのもつれたリボンの結び目を一つ一つマリア様が解いてくださる。つまり、もつれた問題を解決して下さる聖母です。聖母マリア 私たちのために祈りください。

社会事業相談員 Sr.高橋 順子



— 利用者様の作品 —



平成27年4月介護保険改正のポイント

介護保険も15年が経過し、その間にサービスにかかる費用は約3倍、介護保険料も2倍前後に伸びています。今回の改正は介護保険法だけでなく、19本もの法律が同時に成立しました。社会保障の在り方全体を見直すというのが、今回の改正の目的です。

今回の法改正は、10年後の2025年を見据えたものです。この年は、いわゆる「団塊世代」が全員75歳以上の後期高齢者となり、高齢化率も30%を超えると推計されています。介護保険がスタートした平成12年は、現役世代4人で高齢者1人を支える計算でしたが、2人で1人という2倍の負担になると予想されます。

そこで、国は社会保障制度改革国民会議を開き、①社会保障のどの部分を重点的に整え、②どの部分を効率化するかという大きな指針を立てました。この「重点化」と「効率化」が、今回の社会保障制度改革の全体の姿です。

病院では、急性期の高度医療に重点を置き、患者が回復して、ある程度の状態を維持できるようになれば、地域（在宅）へ戻ってまいります。病院の急性期の重点化を「川上」とするならば、そこから流れてくる重度者の受け皿が地域（在宅）というわけです。病院が担っていた療養やリハビリの機能を、在宅で重点的に担ってもらう仕組みにするわけです。

しかし、病院が主に担っていた役割を在宅が今のままで果たすのは簡単ではありません。そこで打ち出されたのが、「地域包括ケアシステム」です。病院が担ってきた機能を地域に移すとなれば、ある程度重い状態でも在宅で過ごせるような環境作りが必要です。そこで、多様な専門職が、密に協力しあって在宅での支援を行う仕組みを作ります。

つまり、介護保険サービスは、医療、看護、リハビリと密に係わる中で、重度の人への対応、あるいは介護負担が大きくなる認知症の人への対応に「重点化」されるわけです。

この流れによると、それ以外のニーズ、つまり軽度の人へのサービスは介護保険における「重点化」の枠から少しずつ外されていき、「効率化」されることとなります。特に要支援1・2の人は、市町村が行う「介護予防・日常生活支援総合事業」という新しい受け皿が中心となります。

老人保健施設では、平成24年の改定で、入所サービスの「施設から在宅へ戻る仕組み」が強化されましたが、さらに今回の改定でも「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」の報酬は、引き上げられました。また、通所リハビリテーションについては、サービスの入り口となる「マネジメントの改革」が行われました。これにより、医療機関などを退院した直後に実施される短期集中リハビリに対して、個々のニーズと成果を明確化したリハビリ計画書の作成や、居宅ケアマネジャーや他サービス事業所も参加する「リハビリテーション会議」の開催等の要件が求められるリハビリテーションマネジメント加算Ⅱが新設されました。

サンタマリアも新たな地域包括ケアシステムの中で、リハビリ施設として求められる役割を果たせるように一層努力して参りますので、これからも宜しくお願いいたします。

— 参考資料 「おはよう21」平成27年4月介護保険改正のポイント
事務長 森内愉美

運動会

平成26年10月8日（水）



みそのラファエル幼稚園児慰問

平成26年10月29日（水）



東山教会聖歌隊慰問

平成26年12月10日（水）



ギター・ピアノ・歌の慰問

平成26年12月11日（木）



クリスマスミサ

平成26年12月17日（水）



餅つき大会

平成26年12月24日（水）



施設祝福式

平成27年1月7日（水）



豆まき

平成27年2月3日（火）



リハビリ用語の基礎知識 【滑車訓練】

骨折後のギプス固定、脳梗塞などの後遺症、変形性関節症やリウマチに伴う痛みなどにより、肩の動きが悪くなることがあります。この状態をいわゆる関節拘縮と呼びます。そうになると腕の上がりが悪くなって、服の着脱や、顔を洗ったり、お風呂で背中を洗ったりするなどの日常動作がしにくくなります。

そこで、滑車とロープを利用した「滑車訓練」を行って頂くことで、肩関節拘縮予防と改善に努めていただいています。

ロープを用いることで、上下だけでなく、左右にも動かすことができますので、普段動かすことの少ない肩の関節をしっかりと動かすことができます。



簡単おいしい高齢者の食事

【ゴックンしやすいじゃが芋団子】（2人分）



☆作り方

- ① じゃが芋は一口大に切り、人参と玉葱は細切りにします。
- ② 鍋に①の野菜とだし汁を入れて、火にかけます。
- ③ 野菜に火が通ったら、砂糖と醤油を入れて、柔らかくなるまでよく煮ます。
- ④ 煮えたじゃが芋、人参、玉葱を一緒につぶして、片栗粉も混ぜます。
- ⑤ 少し冷めたら、丸めて団子を作り、フライパンで焼き目がつくまで弱火で焼いたら出来上がりです。

☆お手軽ポイント

ムセがなく食べられる方は、煮えた野菜をそのまま召し上がっていただけます。また、この団子は残った肉じゃがでも作れます。その場合、糸こんにゃくは取り除き、お肉も取り除くか、細かく刻むと作りやすく、食べやすいです。

☆材料

| | |
|------|----------------|
| じゃが芋 | 100g（中1個） |
| 人参 | 30g（小1/4個） |
| 玉葱 | 20g（小1/4個） |
| 砂糖 | 4g |
| 醤油 | 8g |
| だし汁 | 材料がひたひたにかぶるくらい |
| 片栗粉 | 大さじ1杯 |

新人紹介



写真向かって左から

- ・岩田悠貴子（看護師）
- ・西崎美智子（看護師）
- ・鈴木夢大（介護福祉士）
- ・安藤友昭（理学療法士）
- ・早川伸也（管財職員）

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣1-1101 Email：info@santamaria.or.jp

電話：052（803）3611

ホームページ：http://www.santamaria.or.jp

FAX：052（803）7435

次回発行予定 平成27年10月